

評価シート 様式

取組名	上州力まるごと活用誘客・地方元気プロジェクト		
実施団体名	上州力まるごと活用協議会	対象地域	群馬県渋川市伊香保町、中之条町、草津町、みなかみ町
(代表団体名)		推薦団体名	
① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか		平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。 (備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について		平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)
		② 実施 体制	
		④ 継続 展開 の見 込み	

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	上州力まるごと活用誘客・地方元気プロジェクト		
実施団体名	上州力まるごと活用協議会	対象地域	群馬県渋川市伊香保町、中之条町、草津町、みなかみ町
(代表団体名)		推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、「地域の素材を活用したエステ素材の開発」「地産地消をテーマにした料理メニューの開発」「地域資源を活用した体験プログラムの開発」「4温泉地間移動連泊による健康効果の検証」の4つの取組を4温泉地が連携して実施することにより、広域的な移動連泊型のツアープログラムの構築を目指すものであり、観光客の増大のみならず、各プログラムにおける人材の育成による雇用拡大やエステ素材及び地産地消食材の需要拡大等、地域全体への経済的波及効果が見込まれ、地域資源の複合的な活用による連泊客の獲得のモデルにもなりうる先導性を有する点が評価できる。今後は、以下の点に留意しつつ、地方の元気再生事業を継続することにより、本格展開が期待できるものである。
	具体的には、取組①「プロモーション」については、マーケティングを徹底し、対象を絞ったプロモーションとすべきである。取組③「プログラム開発・商品開発」については、H20の取組「モニターツアー実施」により、商品開発のための検証は達成できたものと判断されることから、内容を絞り込むべきである。取組⑤「2次交通の実施実験」については、関係者と十分調整し、継続的な取組も視野に入れた実効性のある内容とすること。